

# 都市再生整備計画(第3回変更)

たかさきえきひがしぐちしゅうへんちく  
高崎駅東口周辺地区

群馬県 たかさきし  
高崎市

令和2年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	高崎駅東口周辺地区	面積	95.1 ha
計画期間	平成29年度～令和元年度	交付期間	平成29年度～令和元年度				

### 目標

- コンパクトシティ形成のために、まちなかに魅力的な都市機能を集積し、人・もの・情報・文化の発信拠点として躍進する「集客都市たかさき」を創造する。
- 本市の経済・文化の創造と牽引を図り、産業と芸術文化が溢れるまちづくりを目指す。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 高崎市は古くから交通の要衝として栄え、新幹線・高速自動車道等の広域ネットワークの結節点として発展してきたが、北関東自動車道の全線開通、関越自動車道スマートインターチェンジの開設、北陸新幹線の金沢延伸と、本市の拠点性による物流機能は近年さらに向上しており、人・もの・情報が大きに集積するための物理的条件は整いつつある。
- 高崎市第5次総合計画においては、まちづくりの基本戦略として「高崎駅を中心としたまちづくり」を掲げ、商業施設・文化・情報の集積により本市の発展を牽引し、多くの人々が集まり新しい都市文化や経済活動を生み出すような、にぎわいと躍動感あふれるまちづくりを目指している。
- 平成26年度から平成30年度の中心市街地活性化基本計画において、市民や広域来訪者が楽しく回遊できるまち、高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち、音楽を中心とした文化の創造・発信を基本理念にまちづくりを推進するとともに、高崎アリーナの建設や大型商業施設の開業、さらにはコンベンション施設の整備により、高崎駅周辺は群馬県の玄関口として相応しい都市機能の集積が図られている。
- 高崎市は、市民自らの活動により地方都市でプロオーケストラを立ち上げるなど、かねてから音楽をはじめとした芸術文化の活動が活発であるが、その発信力には非常に乏しい現状がある。「音楽のある街たかさき」の象徴でもある群馬交響楽団とともに、それを戦略的に活かしながら、高崎の文化力・ブランド力を創造していく必要がある。

#### 課題

- 今日でも高崎駅は、上越・北陸新幹線をはじめ多数の鉄道やバス路線が乗り入れる県内随一の広域交通ターミナル機能を擁しており、近年の急速な広域化により、交流拠点機能はさらに向上してはいるが、単なる通過都市となってしまう脅威も存在しており、本市のブランド力の向上と、まちの魅力の発信が急務となっている。
- 1961年に「群馬音楽センター」が建設されて以降、高崎に本拠地を置く群馬交響楽団は、日本の音楽界を古くから牽引し、「音楽のある街たかさき」というスローガンとともに、本市の芸術文化創造の象徴とされているが、その創造の場でもある本拠地のホールは施設の老朽化や音響等の問題から、改築の是非がかねてより問われている。
- また、芸術文化の市民活動力、特に音楽の持つエネルギーを活用し、「音楽のある街」としての地域の連帯感や活性化によるまちづくりが必要となっている。
- 複合的で立体的な都市基盤整備が整備されつつも、まちなかの回遊性は衰退し、中心市街地における歩行者数は年々減少している。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年11月に制定、施行されたことを受け策定した「高崎市緊急創生プラン」(平成28年3月策定)では、行政区域を超えた広域的なエリアで施策を検討し、圏域の交流人口の増大を図ることとしている。そのために、「人・もの・情報」の交流を生みビジネスの活性化に繋がる大小のプロジェクトを積極的に仕掛けることで、定住人口と交流人口を増やし、50万人規模の都市と同じ機能と活力を持った魅力的な都市を目指す。
- 高崎都市集客戦略ビジョン(平成22年12月策定)では、基本方針として「北陸・信越と首都圏・東京を結ぶゲートウェイとしての集客都市」を掲げ、交流人口の拡大を積極的に図り、求心力の高い中心市街地に人・もの・情報を誘導する交流と創造のシンボルとしてとしての集客施設を整備することとしている。これにより来街者の増大や定住人口の増加を図り、さらには業務機能の集積による雇用の拡大や民間投資を誘発し、都心部のさらなる賑わいを創出する。
- 群馬音楽センターは「地域交流センター」として新たに整備し、音楽を中心とした芸術文化の創造と育みにより羽ばたくまちを目指す。
- また、高崎駅東口から約1kmの位置にある高崎競馬場跡地については、群馬県により複合一体型のコンベンション施設の令和2年度開館へ向けての整備が推進されており、高崎駅東口付近一体が群馬県全体のみならず、北関東、北信越地域をも牽引する集客拠点都市への成長が期待される。これにより都市機能の充実と集客力の一層の強化を図り、コンベンションシティとしての地位を確立する。
- さらに、「高崎」を都市としてブランディングさせていくため、市民の産業経済活動や芸術文化活動を支援する「高崎経済文化活動スペース」を今後整備し、「創造・交流・発信」の拠点として機能させる。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
①まちなか(高崎駅東口周辺)の歩行者数	人/日	高崎駅東口側の歩行者通行量調査5地点での休日の歩行者数	「目標1:市民や来街者が集う魅力的な都市機能を集積し、都心部への集客力を強化」するため、地域交流センターの整備等によって、衰退化する都心部の活性化を目指す。	48,256	50,000
②中心市街地内の文化施設の年間利用者数	人/日	群馬音楽センターや地域交流センターとして整備する高崎文化芸術センターを含む5つの中心市街地内の文化施設の年間利用者数	「目標2:地域の経済・文化の創造と牽引」するために、「音楽のある街」の新たなシンボルとして地域交流センターをすることで、既存の文化施設とも高崎のブランド力や集客力が高め、文化施設の利用者増加を目指す。	648,078	1,070,000

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>コンパクトシティ形成のために、まちなかに魅力的な都市機能を集積し、人・もの・情報・文化の発信拠点として躍進する「集客都市たかさき」を創造する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設 : 高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業</li> <li>・高次都市施設 : 地域交流センター整備事業</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎駅東口地区暮らし・にぎわい再生事業</li> <li>・高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業</li> <li>・群馬県コンベンション地区暮らし・にぎわい再生事業</li> <li>・まちなかサイン整備事業</li> <li>・駐車場整備事業</li> </ul>
<p>本市の経済・文化の創造と牽引を図り、産業と芸術文化が溢れるまちづくりを目指す。</p>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高次都市施設 : 地域交流センター整備事業</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎駅東口地区暮らし・にぎわい再生事業</li> <li>・高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業</li> <li>・群馬県コンベンション地区暮らし・にぎわい再生事業</li> <li>・事業効果分析調査</li> </ul>
<p>その他</p> <p>○交付期間中の事業管理について          交付期間中の円滑な事業推進のため、関連部署間の連携に努め、事業進捗管理や事業効果等について定期的な協議を行う。          事業の内容・成果等について、市広報誌およびホームページにより適宜周知する。</p>	



# 高崎駅東口周辺地区(群馬県高崎市) 整備方針概要図

目標	集客と地域交流によるにぎわいの創出	代表的な指標	歩行者通行量(人/年)	48,256 (H28年度) → 50,000 (R1年度)
			文化施設利用者数(人/年)	648,078 (H28年度) → 1,070,000 (R1年度)

